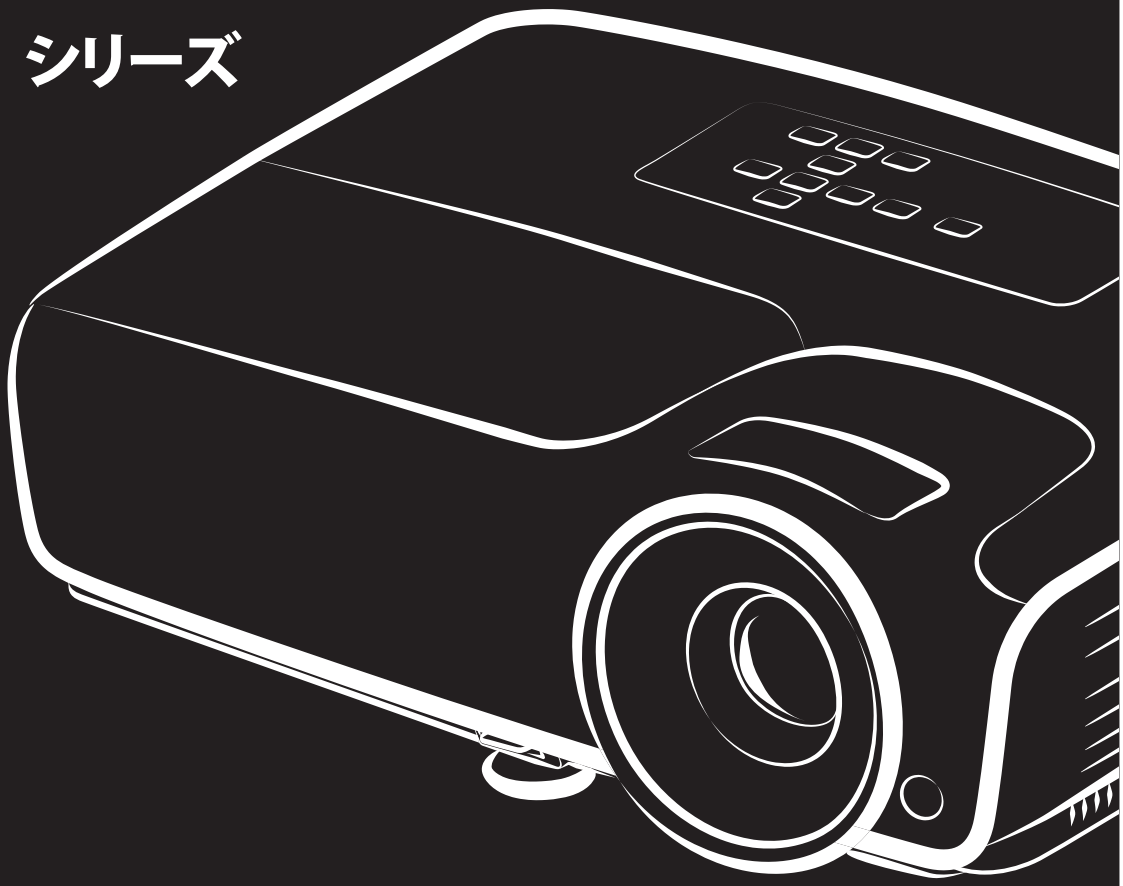
vivitek®
Vivid Color, Vivid Life

ユーザーマニュアル

DS262
DX263
DW275
DH268
DX281-ST
DW284-ST
シリーズ



DLP®
TEXAS INSTRUMENTS

FCC 通知

本装置はテストされ、FCC 規則パート 15 に従ったクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが判明しました。これらの制限は、居住用の設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがって設置および使用しなければ、無線通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。本装置がラジオやテレビ受信装置に有害な障害を与える場合は（装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- 本装置と受信装置の距離をあける
- 本装置を受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーか経験のあるラジオ / テレビ技術者に問い合わせる。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作には次の 2 つの条件があります。

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こさないかもしれません。
2. 本装置は、望ましくない動作を引き起こす干渉を受け入れる必要があります。

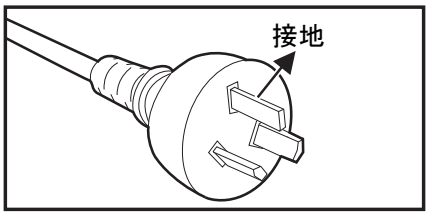
安全上のご注意

プロジェクタを操作する前にこれらの指示をすべて読んで、後で参照できるように保存してください。

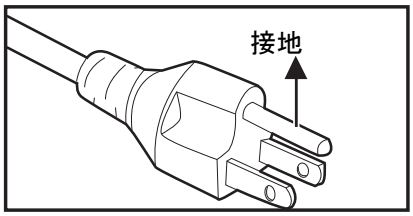
1. 指示を読む
   装置を操作する前に、すべての安全および操作手順をお読みください。
2. 注意事項と警告
   取扱説明書に記載されているすべての注意事項や警告を守ってください。
3. 掃除
   掃除する前に、プロジェクタをコンセントから抜いてください。プロジェクタのハウジングを掃除するときは、湿った布を使用してください。液体またはエアゾールクリーナーは使用しないでください。
4. 付属品
   本製品を不安定なカート、スタンド、またはテーブルに設置しないでください。製品が落下し、製品に重大な損傷を与える可能性があります。
   プラスチック製の梱包材（プロジェクタ、付属品、オプション部品）は、子供の手の届かないところに保管してください。窒息により死に至る可能性がありますす。小さな子供の周りに特に注意してください。
5. 換気
   プロジェクタには、通気孔（吸気口）と換気孔（排気口）があります。
   これらのスロットの近くに何も置かないでください。内部の発熱が起こり、画質が劣化したり、プロジェクタが損傷することがあります。
6. 電源
   ユニットの動作電圧がローカル電源の電圧と同じであることを確認してください。
7. 修理
   本装置を自分自身で修理しようとしないでください。すべての点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。
8. 交換部品
   交換部品が必要な場合は、交換部品が製造元によって指定されていることを確認してください。許可されていない交換は、火災、感電、またはその他の危険につながる可能性があります。
9. 水分結露
   寒い場所から暖かい場所に移動した直後は、本機を使用しないでください。このような温度変化にプロジェクタがさらされると、水分がレンズや重要な内部部品に凝縮することがあります。ユニットの損傷を防ぐため、極端な温度変化がある場合は、少なくとも 2 時間は使用しないでください。

AC 電源コードに関する注意事項

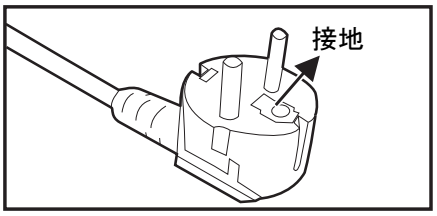
AC 電源コードは、このプロジェクタを使用する国の要件を満たしている必要があります。AC プラグの種類を下記の図で確認し、適切な AC 電源コードが使用されていることを確認してください。付属の AC 電源コードが AC コンセントに合っていない場合は、販売店にお問い合わせください。このプロジェクタには、接地タイプの AC ラインプラグが装備されています。コンセントがプラグに適合していることを確認してください。この接地タイプのプラグの安全目的を破らないでください。電圧変動による信号干渉を防ぐために、接地線タイプの AC ラインプラグを装備したビデオソース機器を使用することを強くお勧めします。



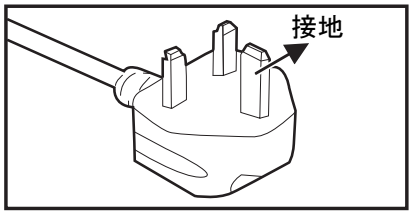
オーストラリアと
中国本土の場合



米国とカナダの場合



大陸ヨーロッパの場合



英国の場合

目次

はじめに 1

プロジェクタの特長 1
プロジェクタ概要 2

製品の使用 4

コントロールパネル 4
接続ポート 5
リモコン 6
電池の取り付け 9
リモコン操作 10

接続 11

コンピュータまたはモニタの接続 12
ビデオソース デバイスとの接続 13

操作 14

プロジェクタの電源をオン / オフする 14
プロジェクタの高さを調整する 15
プロジェクタのフォーカスとズームを調整する 15
投写画像サイズを調整する 16
プロジェクタの固定 19
プレゼンテーションタイマーの設定 20
メニュー操作 21

メンテナンス 30

レンズの洗浄 30
プロジェクタ ハウジングの掃除 30
ランプの交換 31

仕様 33

外形寸法 34

付録 35

LED インジケータメッセージ 35
互換モード 36
トラブルシューティング 39
RS-232 プロトコル 40

はじめに

プロジェクタの特長

このプロジェクタは高性能な光学エンジン投写技術と ユーザーフレンドリーな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。
プロジェクタには次のような特長があります。

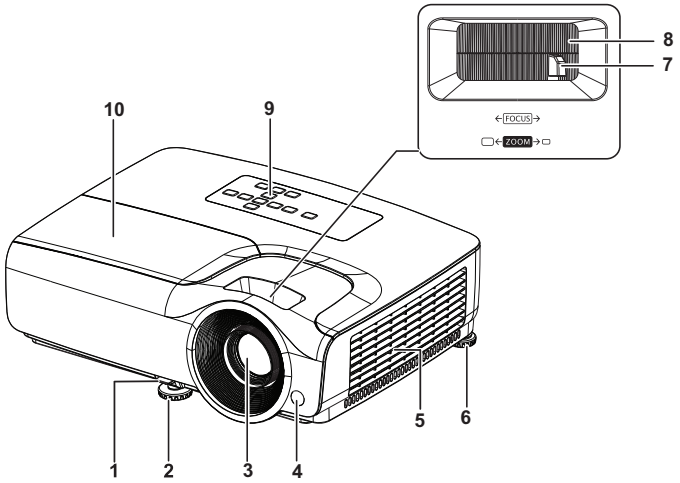
- DLP® テクノロジ
- DS262：800 x 600 SVGA 解像度
- DX263/DX281-ST：1024 x 768 XGA 解像度
- DW275/DW284-ST：1280 x 800 WXGA 解像度
- DH268：1024 x 768 1080P 解像度
- Macintosh® コンピュータとの互換性
- NTSC、PAL、SECAM および HDTV との互換性
- アナログビデオ接続用 D-Sub 15 ピン端子
- ユーザーフレンドリーな多言語オンスクリーンディスプレイ
- 高度な電子キーストーン補正
- シリアル制御用 RS-232 接続
- スタンバイモードでは 0.5W 未満の電力消費。
- Dynamic ECO はダイナミックな省電力を起動します
- クイッククーリング、自動パワーオフ、自動電源オン機能
- インスタントリスタート機能を使用すると、電源を切ってから 90 秒以内にすぐにプロジェクタを再起動できます。
- 3D 機能サポート

☞ ***注意***

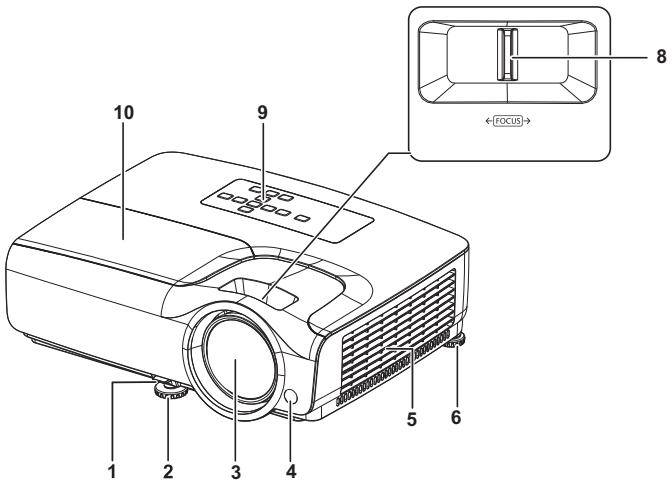
- ***このマニュアルの情報は、通知なしに変更されることがあります。***
- ***書面による同意がない限り、本書の全部または一部の複製、譲渡、複製は認められません。***
- ***投射イメージの明るさは、周辺光の条件、および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定および投射距離によって変わります。***
- ***ランプの輝度は時間の経過に下がります。また、ランプ製造元によっても異なります。これは正常な状態で、予想された反応です。***

プロジェクタ概要

正面図



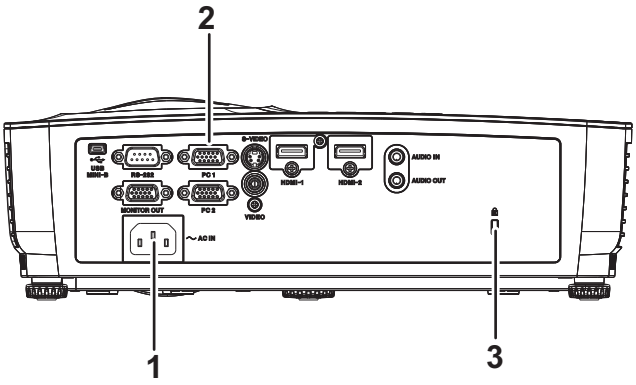
DS262/DX263/DW275/DH268



DX281/DW284-ST

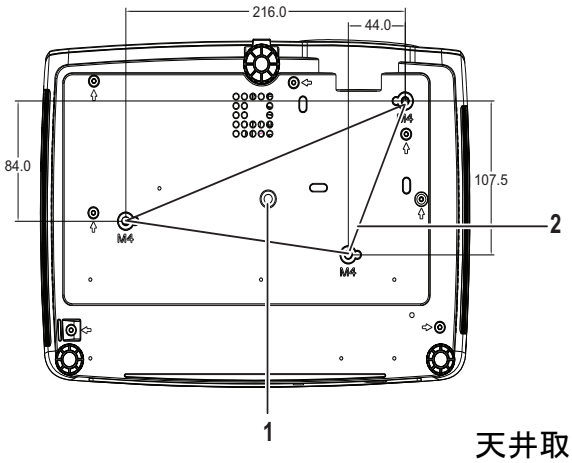
1. クイック解除レバー
2. 正面アジャスタフット
3. 投射レンズ
4. 前面赤外線リモコンセンサー
5. 通気孔
6. 背面調節装置用足部
7. ズーム リング
8. ズーム リング
9. コントロールパネル
10. ランプカバー

背面図



1. AC 電源ソケット
2. 接続ポート
3. 盗難防止用ケンジントンロック スロット

底面図



天井取付ねじ :
M4 x 8 (最長 = 8 mm)

単位 : mm

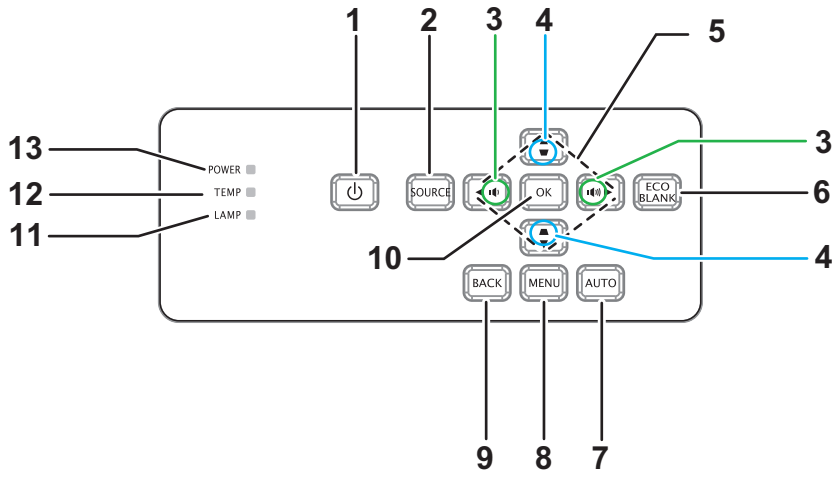
1. 三脚ソケット
2. 天井取付穴

☞ ***注意***

- ***このプロジェクタは、サポートのために天井に取り付けることができます。天井マウントはパッケージに含まれていません。***
- ***プロジェクタを天井に取り付ける方法については、販売店にお問い合わせください。***
- ***本機を設置するときは、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に取り付けるか、または電源プラグを本機の近くにある簡単にアクセス可能なコンセントに接続してください。本機の動作中に障害が発生した場合は、切断装置を操作して電源をオフにするか、電源プラグを抜いてください。***

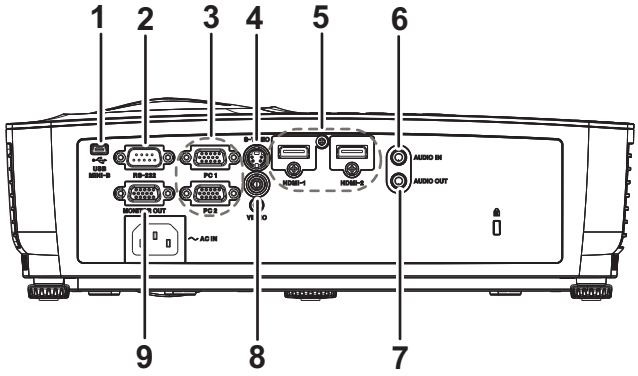
製品の使用

コントロールパネル



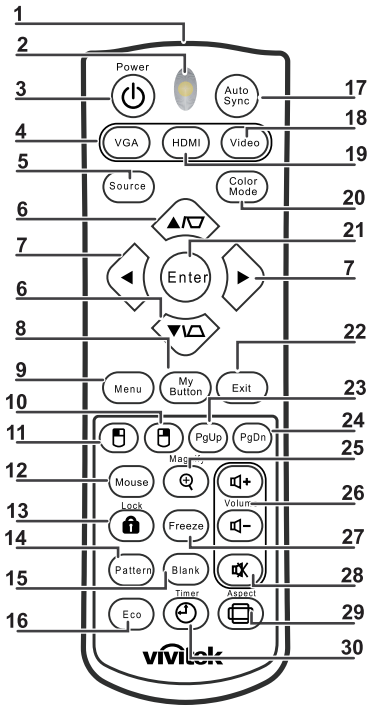
1. ⏻ **電源**
   プロジェクタをオンまたはオフにします。
2. **ソース**
   ソース選択バーを表示します。
3. 🔉/🔊 **音量**
   音量を調整します。
4. ▼/▲ **台形補正**
   画像の台形（上下の広い）効果を補正します。
5. **▲/▼/◀/▶ 上/下/左/右キー**
   OSD でナビゲートし、設置を変更します。
6. **エコ消画**
   画面を空白にします。
7. **自動**
   位相、水平サイズ、位置を自動調整します。
8. **メニュー**
   OSD を開きます。
9. **戻る**
   前の OSD メニューに戻ります。
10. **OK**
    OSD の設定を変更します。
11. **ランプ**（ランプ LED インジケータ）
    「LED インジケータメッセージ」を参照してください。
12. **温度**（温度 LED インジケータ）
    「LED インジケータメッセージ」を参照してください。
13. **電源**（電源 LED インジケータ）
    「LED インジケータメッセージ」を参照してください。

接続ポート



1. **USB MINI-B**
   このコネクタは、ファー ムウェア更新用です。
2. **RS-232**
   プロジェクタをコンピュータを介して操作する場合は、これをコンピュータの RS-232C ポートに接続します。
3. **PC 1/PC 2**
   画像入力信号（アナログ RGB またはコンポー ネント）をこのジャックに接続します。
4. **S ビデオ**
   S ビデオ出力をビデオ機器からこのジャックに接続します。
5. **HDMI-1/HDMI-2**
   HDMI 出力をビデオ機器またはコンピュータからこのジャックに接続します。
6. **音声入力**
   オーディオ出力をビデオ機器またはコンピュータからこのジャックに接続します。
7. **音声出力**
   スピーカーまたは他のオーディオ入力機器に接続します。
8. **ビデオ**
   コンポジットビデオ出力をビデオ機器からこのジャックに接続します。
9. **モニタ出力**
   コンピュータディスプレイなどに接続します。

リモコン



1. **IR 送信装置**
   信号をプロジェクタに送信します。
2. **ステータス LED**
   リモコンを使用するときに点灯します。
3. **電源**
   プロジェクタをオンまたはオフにします。
4. **VGA**
   コンピュータ信号を表示します。
5. **ソース**
   ソース選択バーを表示します。
6. **▽/△台形補正**
   画像の台形（上下の広い）効果を補正します。
   ▾▴ 上／下
   OSD でナビゲートし、設置を変更します
7. **◂▸ 左／右**
   OSD でナビゲートし、設置を変更します
8. **マイボタン**
   機能はありません。
9. **メニュー**
   OSD を開きます。
10. **右マウス**
    機能はありません。

11. 左マウス
機能はありません。
12. マウス
機能はありません。
13. ロック
機能はありません。
14. パターン
機能はありません。
15. ブランク
画面を空白にします。
16. Eco
ランプモード選択バー（ノーマル / 省電力 / ダイナミック エコ）を表示します。
17. 自動同期化
位相、水平サイズ、位置を自動調整します。
18. ビデオ
VIDEO 信号を表示します。
19. HDMI
HDMI 信号を表示します。
20. カラーモード
表示モードを選択します。
21. エンター
OSD の設定を変更します。
22. 終了
メニュー設定を終了して保存します。
23. ページアップ
PC に USB を通して接続されているとき、ページアップします。
24. ページダウン
PC に USB を通して接続されているとき、ページダウンします。
25. 拡大
投射されるピクチャサイズを拡大します。
26. 音量
音量を調整します。
27. フリーズ
オンスクリーンピクチャをフリーズ / フリーズ解除します。
28. ミュート
内蔵スピーカーをミュートします。
29. 縦横比
表示縦横比を選択します。
30. タイマー
P-Timer OSD メニューを有効にします。

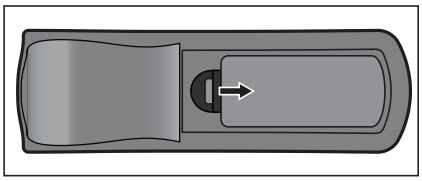
リモートマウスコントロールの使用

リモコンでコンピュータを操作することにより、プレゼンテーションをより柔軟に行うことができます。

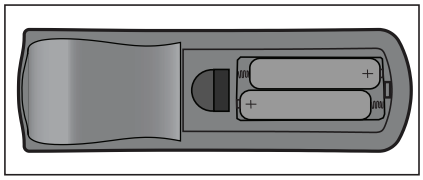
1. コンピュータのマウスの代わりにリモコンを使用する前に、プロジェクタを USB ケーブルで PC またはノートブックに接続してください。詳細は、12 ページの「コンピュータまたはモニタの接続」を参照してください。
2. 入力信号を**コンピュータ**に設定します。
3. ページアップ／ダウンコマンド（Microsoft PowerPoint など）に応答するディスプレイソフトウェアプログラム（接続された PC 上）を操作するには、**ページアップ**／**ページダウン**を押します。
4. リモートページング機能が動作しない場合は、USB 接続が適切か、またコンピュータのマウスドライバは最新のバージョンかどうかを確認してください。

電池の取り付け

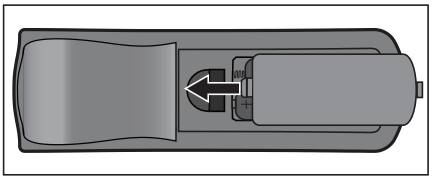
1. 電池カバーを図の方向に開きます。



2. コンパートメント内部の図に示すように電池を取り付けます。



3. 電池カバーを所定の位置に閉じます。



⚠ ***注意***

- ***電池を誤ったタイプに交換すると爆発の危険があります。***
- ***使用済み電池は、指示に従って廃棄してください。***
- ***電池を取り付けるときは、プラスとマイナスの端子が正しく位置合わせされていることを確認してください。***

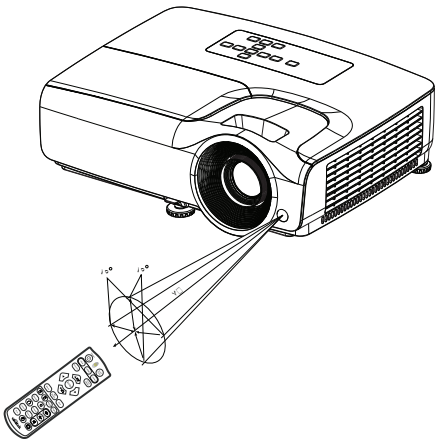
☞ ***注意***

- ***電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池を誤って飲み込むと、死亡の危険があります。***
- ***長期間使用しないときは、リモコンの電池を取り外してください。***
- ***使用済みの電池を家庭の廃棄物とともに処分しないでください。使用済みの電池は、現地の規則に従って廃棄してください。***
- ***電池を正しく交換しないと、爆発の危険があります。すべての電池を新しい電池と交換します。***
- ***電池を火の中や近くに置かないでください。電池を暗くて涼しく乾燥した場所に保管してください。***
- ***電池の液漏れが疑われる場合は、漏れを拭き取り、新しい電池に交換してください。***
- ***漏れが身体や衣服に付着した場合は、直ちに水ですすいでください。***

リモコン操作

リモコンを赤外線リモートセンサーに向け、ボタンを押します。

- 正面からのプロジェクタの操作



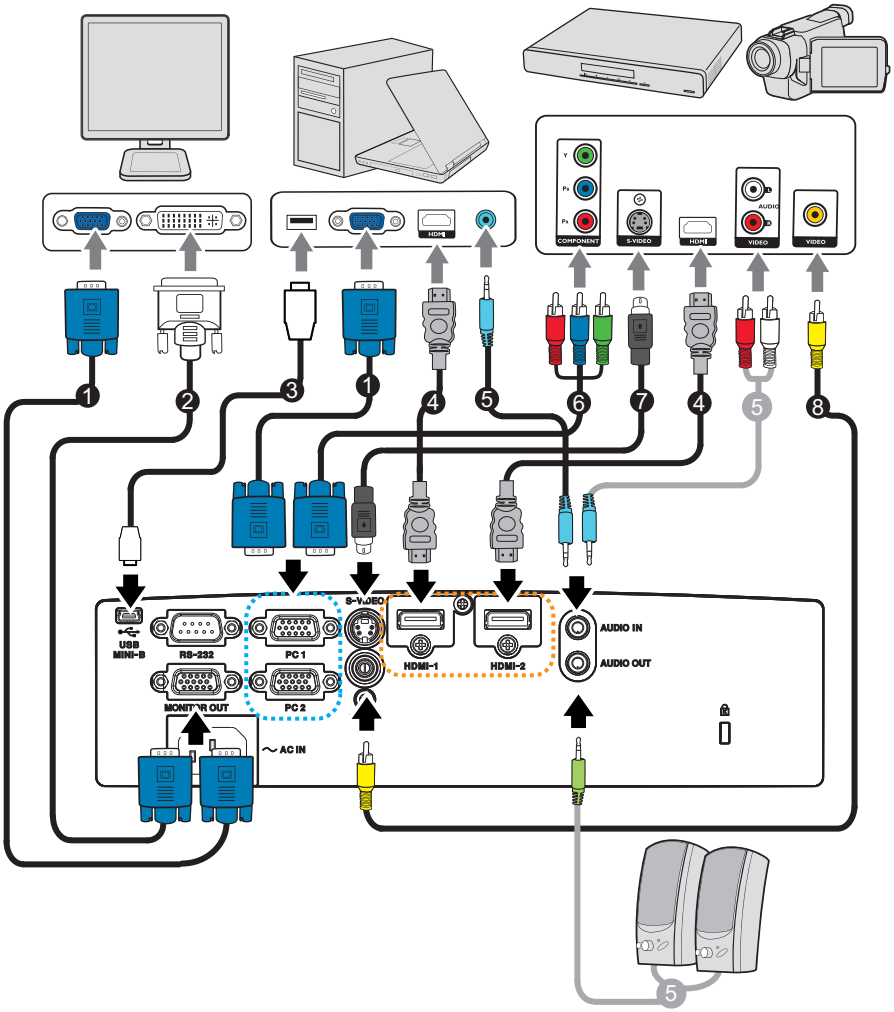
☞ ***注意***

- ***レーザーを直接人の目（特に小さいお子様）に向けないでください。目に対する怪我の危険があります。***
- ***日光やリモートセンサーに輝く蛍光灯などの強い光があると、リモコンが作動しないことがあります。***
- ***リモートセンサーが見える位置からリモコンを操作します。***
- ***リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。***
- ***リモコンは、温度や湿度が高い場所を避けて保管してください。***
- ***リモコンに水をかけたり、濡れたものを置かないでください。***
- ***リモコンを分解しないでください。***

接続

信号ソースをプロジェクタに接続する場合、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。



1. VGA ケーブル (D-Sub - D-Sub)
2. VGA 対 DVI-A ケーブル
3. USB ケーブル（ミニ B タイプ - A ケーブル）
4. HDMI ケーブル
5. オーディオケーブル
6. VGA (D-Sub) - HDTV (RCA) ケーブル
7. S ビデオケーブル
8. コンポジットビデオケーブル

☞ ***重要***

- ***上に示す接続では、プロジェクタに付属していないケーブルが一部あります。それらのケーブルは電気店でお求めいただけます。***
- ***上の接続図は参照用です。プロジェクタで使用できる背面接続ジャックは、各プロジェクタのモデルによって異なります。***

コンピュータまたはモニタの接続

コンピュータの接続

プロジェクタは IBM® 互換 PC および Macintosh® コンピュータに接続することができます。旧式の Macintosh コンピュータに接続するには、Mac アダプタが必要です。

プロジェクタをノート PC またはデスクトップ PC に接続するには、

- VGA ケーブルの使用

1. VGA ケーブルの一方の端をコンピュータの D-Sub 出力ソケットに接続します。
2. VGA ケーブルのもう一方の端をプロジェクタの **PC 1** ／**PC 2** 信号入力ソケットに接続します。

- HDMI ケーブルの使用

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの **HDMI-1** ／**HDMI-2** ジャックに接続します。
2. もう一方の端をプロジェクタの HDMI ジャックに接続します。

☞ ***重要***

- ***多くのノート PC では、プロジェクタに接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は「FN」+「F3」や CRT/LCD キーの組み合わせによって、外部ディスプレイをオン/オフにすることができます。CRT/LCD とラベルされた機能キー、またはノート PC にモニタ記号が付いた機能キーを探します。「FN」とラベルの付いた機能キーを同時に押します。ノート PC のキーの組み合わせについては、ノート PC の説明書をお読みください。***

モニタの接続

ご自分のプレゼンテーションをスクリーンだけでなく、モニタにも表示して近くで画面を確認したい場合、下の図に示す通りプロジェクタの**モニタ出力**信号出力ソケットと外部モニタを VGA ケーブルで接続できます。

プロジェクタとモニタを接続するには、

1. 12 ページの「コンピュータの接続」で説明したように、プロジェクタをコンピュータに接続します。
2. 適切な VGA ケーブル（本製品に同梱されているもの）を使ってビデオモニタの D-Sub 入力ソケットに挿入します。
   または、モニタに DVI 入力ソケットが装備されている場合は、VGA - DVI-A ケーブルを使ってケーブルの DVI コネクタをビデオモニタの DVI 入力ソケットに接続してください。
3. ケーブルのもう一方の端をプロジェクタの**モニタ出力**ソケットに接続します。

☞ ***重要***

- ***モニター出力ジャックの出力信号は、PC ジャックから入力信号が送られている場合に限り機能します。プロジェクターの電源がオンの際は、モニタ出力ジャックからの出力信号は、PC ジャックからの入力信号により異なります。***

ビデオソース デバイスとの接続

- HDMI ケーブルの使用

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの **HDMI-1** ／**HDMI-2** ジャックに接続します。
2. もう一方の端をプロジェクタの HDMI ジャックに接続します。

- VGA (D-Sub) - HDTV (RCA) ケーブルの使用

1. VGA (D-Sub) - HDTV (RCA) ケーブルの 3 個の RCA タイプコネクタが付いた方をビデオソース装置のコンポーネントビデオ出力ソケットに接続します。プラグの色とソケットの色を合わせてください（緑は緑と、青は青と、赤は赤と）。
2. ケーブルのもう一方の端（D-Sub タイプコネクタが付いた方）をプロジェクタの **PC 1** ／**PC 2** ソケットに接続します。

- S ビデオ／コンポジットソース デバイスの接続

1. S ビデオ／ビデオケーブルの一方の端をビデオソース デバイスの S ビデオ / ビデオ出力ジャックに接続します。
2. S ビデオ／ビデオケーブルのもう一方の端をプロジェクタの **S ビデオ**／**ビデオ** ジャックに接続します。

☞ ***重要***

- ***プロジェクタの電源をオンにした後正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、選択したビデオ画像が表示されない場合、ビデオソース デバイスの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。***

操作

プロジェクタの電源をオン / オフする

プロジェクタに電源を投入する：

1. AC 電源コードと周辺機器の信号ケーブルの接続を完了します。
2. ⏻ を押して、プロジェクタをオンにします。
   プロジェクタはウォームアップに 1 分ほどかかります。
3. ソース（コンピュータ、ノートブック、DVD など）の電源を入れます。自動ソース設定がオンになっている場合、プロジェクタは自動的にソースを検出します。
   - プロジェクタが有効な信号を検出しない場合、「信号なし」のメッセージが表示されます。

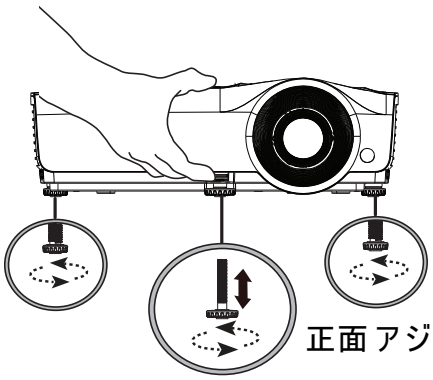
⚠ ***警告***

- ***ランプが点灯しているときは、レンズを絶対に見ないでください。目を傷つけることがあります。***
- ***この焦点は高温になります。火災の危険を避けるため、近くに物を置かないでください。***

プロジェクタの電源を切断する：

1. ⏻ を押して、プロジェクタのランプをオフにします。画面にメッセージ「⏻ ボタンを再度押して、電源をオフにしてください」が表示されます。
2. もう一度 ⏻ を押して、確認します。
   - プロジェクタを再びオンにするには、プロジェクタが冷却サイクルを完了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。スタンバイモードになったら、⏻ を押してプロジェクタを再起動します。
3. コンセントとプロジェクタから AC 電源コードを抜きます。
4. 電源を切った直後にプロジェクタの電源を入れないでください。

プロジェクタの高さを調整する



プロジェクタには、1 つの正面アジャスタフットおよび 2 つの背面アジャスタフットが備え付けられています。

これらのアジャスタを使って、画像の高さと投射角度を調整します。

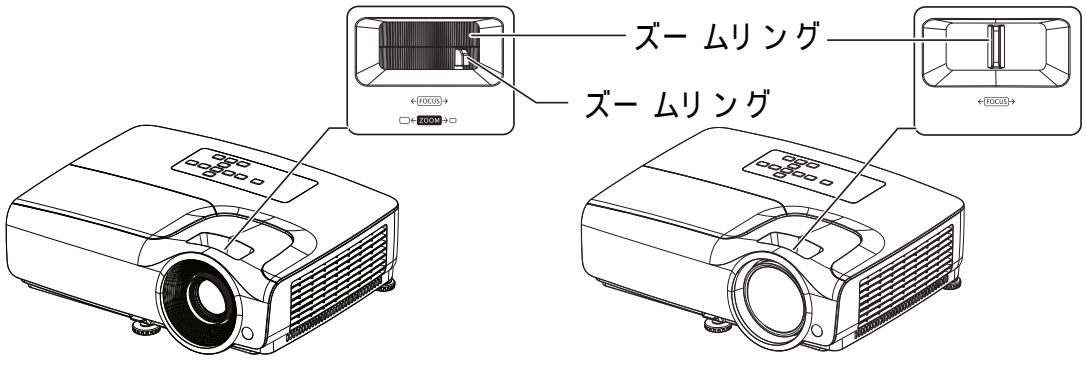
1. クイックリリースレバーを引き、プロジェクタの正面を持ち上げます。画像が希望する位置に表示されたら、クリックリリースレバーを放して、フットを所定の位置にロックします。また、正面アジャスタフットを回して、画像の高さを変更することができます。
2. 背面アジャスタフットを使用して、水平角度を微調整します。

フットを引き込めるには、アジャスタフットを逆方向に回してください。

☞ ***注意***

- ***プロジェクタの損傷を防ぐために、プロジェクタをキャリングケースに入れる前に、調整足が完全に引き込まれていることを確認してください。***

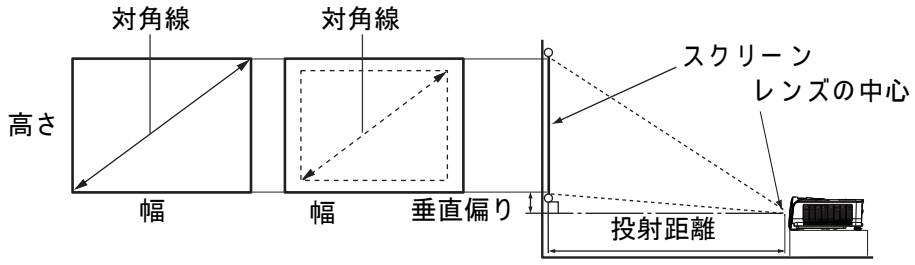
プロジェクタのフォーカスとズームを調整する



1. フォーカスリングを回して焦点を合わせます。ピント合わせには静止画をお勧めします。
2. ズーム リングをスライドさせて画像サイズを調整します。

投写画像サイズを調整する

下の図と表を参照して、画面サイズと投射距離を決定してください。



DS262/DX263

画面のアスペクト比は 4：3 で、投射される画像は 4：3 です

スクリーンサイズ				投射距離 (mm)			垂直偏り (mm)
対角線		幅 (mm)	高さ (mm)	最小距離	平均	最大距離	
インチ	mm			（最大ズーム）		（最小ズーム）	
35	889	711	533	1380	1515	1650	32
40	1016	813	610	1577	1731	1886	37
50	1270	1016	762	1971	2164	2357	46
60	1524	1219	914	2365	2597	2829	55
80	2032	1626	1219	3154	3463	3771	73
100	2540	2032	1524	3942	4328	4714	91
120	3048	2438	1829	4730	5194	5657	110
150	3810	3048	2286	5913	6492	7071	137
200	5080	4064	3048	7884	8656	9428	183
220	5588	4470	3353	8673	9522	10371	201
250	6350	5080	3810	9855	10820	11786	229
300	7620	6096	4572	11826	12984	14143	274

DW275

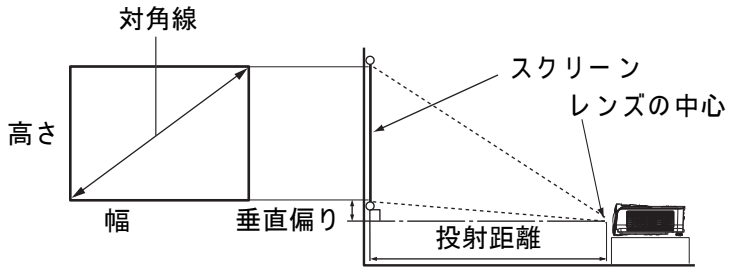
画面のアスペクト比は 16:10 で、投射される画像は 16:10 です

スクリーンサイズ				投射距離 (mm)			垂直偏り (mm)
対角線		幅 (mm)	高さ (mm)	最小距離	平均	最大距離	
インチ	mm			（最大ズーム）		（最小ズーム）	
35	889	754	471	1168	1285	1402	19
40	1016	862	538	1335	1469	1603	22
50	1270	1077	673	1669	1836	2003	27
60	1524	1292	808	2003	2203	2404	32
80	2032	1723	1077	2671	2938	3205	43
100	2540	2154	1346	3339	3672	4006	54
120	3048	2585	1615	4006	4407	4808	65
150	3810	3231	2019	5008	5509	6009	81
200	5080	4308	2692	6677	7345	8013	108
220	5588	4739	2962	7345	8079	8814	118
250	6350	5385	3365	8346	9181	10016	135
300	7620	6462	4039	10016	11017	12019	162

DH268

画面の アスペクト比は 16：9 で、投射される画像は 16：9 です

スクリーンサイズ				投射距離 (mm)			垂直偏り (mm)
対角線		幅 (mm)	高さ (mm)	最小距離	平均	最大距離	
インチ	mm			（最大ズー ム）		（最小ズー ム）	
35	889	775	436	1037	1149	1262	31
40	1016	886	498	1192	1321	1450	35
50	1270	1107	623	1502	1664	1826	44
60	1524	1328	747	1813	2008	2202	52
80	2032	1771	996	2435	2695	2955	70
100	2540	2214	1245	3057	3382	3708	87
120	3048	2657	1494	3678	4069	4460	105
150	3810	3321	1868	4610	5100	5589	131
200	5080	4428	2491	6164	6817	7471	174
220	5588	4870	2740	6785	7504	8223	192
250	6350	5535	3113	7718	8535	9352	218
300	7620	6641	3736	9271	10253	11234	262



DX281-ST

画面の アスペクト比は 4：3 で、投射される画像は 4：3 です

スクリーンサイズ				スクリーンからの距離 (mm)	垂直偏り (mm)
対角線		幅 (mm)	高さ (mm)		
インチ	mm				
35	889	711	533	448	32
40	1016	813	610	512	37
50	1270	1016	762	640	46
60	1524	1219	914	768	55
80	2032	1626	1219	1024	73
100	2540	2032	1524	1280	91
120	3048	2438	1829	1536	110
150	3810	3048	2286	1920	137
200	5080	4064	3048	2560	183
220	5588	4470	3353	2816	201
250	6350	5080	3810	3200	229
300	7620	6096	4572	3840	274

DW284-ST

画面の アスペクト比は 16:10 で、投射される画像は 16:10 です

スクリーンサイズ				スクリーンからの距離 (mm)	垂直偏り (mm)
対角線		幅 (mm)	高さ (mm)		
インチ	mm				
35	889	754	471	362	18
40	1016	862	538	414	20
50	1270	1077	673	517	25
60	1524	1292	808	620	30
80	2032	1723	1077	827	41
100	2540	2154	1346	1034	51
120	3048	2585	1615	1241	61
150	3810	3231	2019	1551	76
200	5080	4308	2692	2068	102
220	5588	4739	2962	2275	112
250	6350	5385	3365	2585	127
300	7620	6462	4039	3102	152

☞ ***注意***

- ***プロジェクタを水平に置きます。他の位置では、熱がこもり、プロジェクタが損傷する可能性があります。***
- ***プロジェクタの側面の間に 30 cm 以上のスペースを確保してください。***
- ***煙の多い環境では使用しないでください。重要な部品に煙が残ることがあり、プロジェクタが損傷したり、その性能を損なう可能性があります***
- ***天井からの吊り下げなどの特別な設置については、販売店にご相談ください。***

プロジェクタの固定

パスワードの設定と変更

1. OSD メニューを開き、**設定 2** > **セキュリティ設定**メニューに進み、**エンター**を押します。
2. **パスワードの変更**を選択し、**エンター**を押します。
3. パスワードを設定するには :
   設定したいパスワードのとおり、矢印キーを押して 6 桁のパスワードを入力します。
4. パスワードを変更するには :
   最初に現在のパスワードを入力するように求められ、次に、新しいパスワードに変更します。
5. パスワードを再度入力して、新しいパスワードを確認します。
6. OSD メニューを終了するには、**メニュー ／終了**を押します。

パスワード機能を有効化する

1. **設定 2** > **セキュリティ設定**に戻り、**エンター**を押します。
2. **セキュリティ設定の変更**を選択し、**エンター**を押します。パスワードを入力するよう求められます。パスワードが設定されると、OSD メニューは**電源ロック**に戻ります。◄ ／► を押して**オン**を選択します。
3. パスワード保護を無効にするには、**電源ロック**メニューで、**オフ**を選択します。

プレゼンテーションタイマーの設定

プレゼンテーションタイマーは、プレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、プレゼンテーションを行うときよりよい時間管理を達成できるようにします。この機能を使用するには、次の手順にしたがってください:

1. リモコンのタイマーを押して、プレゼンテーションタイマーメニューにアクセスする、または、**設定 1** > **プレゼンテーションタイマー**メニューに進み、**エンター**を押して、**プレゼンテーションタイマー**ページを開きます。
2. **タイマー間隔**を選択し、◄/► を押して、タイマー期間を決定します。
3. ▼ を押して、**タイマー表示**を選択し、◄/► を押して、タイマーを画面上に表示するかどうかを選択します。

選択	説明
常に使用する	プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。
1 分 /2 分 /3 分	タイマーをスクリーンに最後の 1/2/3 分間だけ表示します。
常に使用しない	プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。

4. ▼ を押して、**タイマーの位置**を選択し、◄/► を押して、タイマーの位置を設定します。
   左上→**左下**→右上→右下
5. ▼ を押して、**タイマーのカウント方法**を選択し、◄/► を押して、目的のカウント方法を選択します。

選択	説明
増加	0 からプリセット時間までカウントを続けます。
減少	プリセット時間から 0 までカウントダウンします。

6. ▼ を押して、**サウンドによる通知**を選択し、◄/► を押して、サウンドによる通知を有効化するかどうかを決定します。
7. プレゼンテーションタイマーを有効化するには、**プレゼンテーションタイマー**を選択して、**オン**を選択し、**はい**を選択します。
8. タイマーをキャンセルするには、**プレゼンテーションタイマー**を選択して、**オフ**を選択し、**はい**を選択します。

メニュー操作

プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイメニュー (OSD) があり、画像の調整や各種設定の変更が可能です。

操作方法

1. **メニュー**を押して、OSD メニューを開きます。
2. OSD が表示されているとき、◄/► を使って、メインメニューの任意の機能を選択します。
3. 目的のメインメニュー項目を選択した後、▼ を押して、機能設定のサブメニューに入ります。
4. ▲/▼ を使って、目的の項目を選択し、◄/► で設定を調整します。
   - 次のレベルの OSD メニューに入るには、**エンター**を押します。
5. **メニュー**を 2 回 * 押して、設定を保存して、終了します。
   *1 回目でメインメニューに戻り、2 回目で OSD メニューが閉じます。

メニュー ツリー

☞ ***注意***

- ***サポートされるオンスクリーンディスプレイ(OSD) メニューは、様々な入力ソースにより異なります。サポートされない機能はグレー アウトされます。***
- ****: カラー モードが利用可能である場合のみ、ユーザー 設定 1 またはユーザー設定 2 が選択されます。***

メインメニュー	サブメニュー	設定	
表示	壁スクリーン	オフ / 薄い黄色 / ピンク / ライト グリーン / 青 / 黒板	
	縦横比	自動 / リアル /4:3/16:9/16:10	
	台形補正		
	位置		
	位相		
	水平サイズ		
	デジタル ズーム		
	3D	3D モード	自動 / 上下 /F. シーケンシャル / フレーム パッキング / サイドバイサイド / オフ
		3D 逆同期	無効 / 逆同期
		3D 設定を保存	3D 設定 1/3D 設定 2/ 3D 設定 3
		3D 設定を適用	3D 設定 1/3D 設定 2/ 3D 設定 3/ オフ
ピクチャ	カラー モード	明るく / プレゼンテーション /sRGB/ ムービー / (3D)/ ユーザー設定 1/ ユーザー設定 2	
	リファレンス モード *	明るく / プレゼンテーション /sRGB/ ムービー / (3D)	
	輝度		
	コントラスト		
	色		
	色調		
	シャープネス		
	Brilliant Color	オン / オフ	
	色温度	冷 / ノーマル / 暖色	
	色温度の詳細調整	R ゲイン /G ゲイン /B ゲイン /R オフセット / G オフセット /B オフセット	
	カラー マネージメント	原色	R/G/B/Y/C/M
		色相	
		彩度	
		ゲイン	
	カラー設定のリセット	現在の / すべて / キャンセル	

ソース	自動ソース	オン / オフ	
設定 1	プレゼンテーション タイマー	タイマー間隔	1、2、3、4、5、10 ～ 240 分
		タイマー表示	常に使用する /3 分 /2 分 / 1 分 / なし
		タイマーの位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下
		タイマーのカウント方法	減少 / 増加
		サウンドによる通知	オン / オフ
		オン / オフ	はい / いいえ
	言語	多言語	
	投写	前面投写 / リア投写 / 天井リア投写 / 天井前面投写	
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒 / 常に使用する
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
		アラー ムメッセージ	オン / オフ
	操作設定	ダイレクト電源オン	オン / オフ
		信号入力時電源オン	オン / オフ
		自動パワー オフ	無効 /3 分 /10 分 /15 分 / 20 分 /25 分 /30 分
		クイッククーリング	オン / オフ
		クイック再起動	オン / オフ
		画面オフタイマー	無効 /5 分 /10 分 /15 分 / 20 分 /25 分 /30 分
		スリープ タイマー	無効 /30 分 /1 時間 / 2 時間 /3 時間 /4 時間 / 8 時間 /12 時間
	背景色	工場出荷時のデフォルト設定 / 黒 / 青	
	スプラッシュ スクリーン	工場出荷時のデフォルト設定 / 黒 / 青	

設定 2	高地対応モード	オン / オフ	はい / いいえ	
	オーディオ設定	ミュート	オン / オフ	
		オーディオ音量		
		電源オン / オフ音	オン / オフ	
	ランプ設定	ランプ モード	ノーマル / エコ / ダイナミック エコ	
		タイマーのリセット	リセット / キャンセル	
		ランプ時間（低）		
	セキュリティ設定	パスワードの変更		
		セキュリティ設定の変更	電源ロック	オン / オフ
	ボーレート	2400 / 4800 / 9600 / 14400 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200		
	テストパターン	オン / オフ		
	クローズドキャプション	クローズドキャプション有効	オン / オフ	
		キャプション バージョン	CC1/CC2/CC3/CC4	
	スタンバイ設定	モニタ出力スタンバイ	オン / オフ	
		オーディオ パススルー	オフ /Audio In/HDMI1/ HDMI2	
	設定にリセット	リセット / キャンセル		
情報	ネイティブ解像度			
	現在のシステム状態	ソース		
		カラー モード		
		解像度		
		ランプモード		
		3D 形式		
		カラー システム		
		ランプ時間（低）		
		ファーム ウェア バージョン		

表示

壁スクリーン

白以外の投写壁に投写する際に、投写画像の色を補正します。

縦横比

入力信号ソースによっても異なりますが、画像の縦横比の設定オプションは 4 つあります。

台形補正

イメージの台形補正を修正します。

位置

位置調整ページが開きます。画像を移動するには、方向矢印キーを使用します。ページの下側の値は、キーが最大値または最小値に達するまで、キーごとに変化します。

位相

画像の歪みを低減するためにクロック位相を調整します。

水平サイズ

画像の水平幅を調整します。

デジタルズーム

投射画像のサイズを拡大または縮小します。

3D

本プロジェクタは、画像に深みを与えることで 3D ムービー、ビデオ、スポーツイベントをより臨場感豊かにお楽しみいただける 3D 機能を備えています。3D 画像をご覧いただくには、3D メガネを着用する必要があります。

- 3D モード：デフォルト設定はオフです。プロジェクタが 3D 形式を認識できない場合、3D モードを選択してください。
- 3D 逆同期：画像深度が逆転している場合、この機能をオンにすることで問題を修正できます。
- 3D 設定を適用：次回プロジェクタを再起動すると、プロジェクタは保存された 3D 設定を適用し、これらの設定を保持します。
- 3D 設定を保存：プロジェクタは現在の 3D 設定を記憶します。

ピクチャ

カラーモード

ご自分のプログラムタイプに合うようにプロジェクタ画像の設定を最適化できるように、事前定義された表示モードが用意されています。

リファレンス モード

画質に必要とされる最適の表示モードを選択し、さらに同じページ上に一覧された選択に基づき画像を微調整します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

画像の暗い部分と明るい部分の違いを調整します。

色

彩度レベル、つまりビデオ画像の各色の量を調整します。

色調

画像の赤と緑の色調を調整します。

シャープネス

画像がよりシャープまたはソフトになるように調整します。

Brilliant Color

オンを選択すると、中間調の画像の輝度がさらに高くなります。

色温度

色温度設定で利用可能なオプションは、選択した信号タイプによって異なります。

- 冷 : 画像を青みがかった白で表示します。
- ノーマル : 白の色合いを通常に保ちます。
- 暖色 : 画像を赤みがかった白で表示します。

色温度の詳細調整

お好みの色温度を設定する。

- R ゲイン /G ゲイン /B ゲイン : 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
- R オフセット /G オフセット /B オフセット : 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。

カラーマネージメント

カラーマネージメントでは、6 セット (RGBCMY) の色を調整できます。各色を選択すると、好みに応じて範囲、色相、彩度、ゲインを個別に調整することができます。

- 原色 : 赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタから色を選択します。
- 色相 : 範囲を広げると、その隣り合う 2 つの色の割合も多くなります。
- 彩度 : ビデオピクチャの色の量のことです。設定を下げると、飽和色が少なくなります。
- ゲイン : これによって、選択する原色のコントラストレベルが影響を受けます。

カラー設定のリセット

現在の、またはすべてのカラー モードをリセットします。

- 現在の：現在の表示モードを工場出荷時の設定に戻します。
- すべて：カラー モード設定を工場出荷時事前設定に戻します。

ソース

自動ソース

プロジェクタで信号を自動的に検索するには、ソースメニューの自動ソース機能がオン（このプロジェクタのデフォルト）であることを確認します。

設定 1

プレゼンテーション タイマー

プレゼンテーション発表者に残りの持ち時間を知らせます。

言語

オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD) の言語を設定します。

投写

プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを付けて設置することができます。

メニュー設定

- メニュー表示時間：最後にキーを押してから OSD がアクティブになっている時間の長さを設定します。長さは 5 ～ 30 秒まで 5 秒刻みで設定できます。
- メニュー位置：オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー位置を設定します。
- アラーム メッセージ：アラーム メッセージを表示するかどうかを設定します。

操作設定

- ダイレクト電源オン：「オン」を選択すると機能が有効になります。
- 信号入力時電源オン：「オン」を選択しているとき、VGA 信号が検出されるとプロジェクタは自動的にオンになります。「オフ」を選択すると、プロジェクタは手動でオンにできます（キーパッドまたはリモートで）。
- 自動パワー オフ：指定した時間を経過しても入力信号が検出されない場合、プロジェクタの電源を自動的にオフにします。
- クイッククーリング：「オン」を選択すると機能が有効になり、プロジェクタの冷却期間が数秒に短縮されます。クイッククーリング直後にプロジェクタを再起動しようとすると、起動せず冷却ファンが作動する場合があります。
- クイック再起動：クイック再起動がオンのとき、プロジェクタがオフになってから 90 秒以内にプロジェクタを再起動できます。
- 画面オフタイマー：画面オフ機能が有効になっているとき、画像をオフにする時間を設定します。その時間が経過すると、画像は画面に戻ります。
- スリープ タイマー：自動停止タイマーを設定します。タイマーは 30 分から 12 時間の間で値を設定できます。

背景色

プロジェクタに信号入力がないとき、表示される背景色を選択できます。

スプラッシュ スクリーン

プロジェクタ起動時に表示されるロゴスクリーンを選択することができます。

設定 2

高地対応モード

この機能を使用して、プロジェクタの適切な高高度冷却を実現するために、ファンをフルスピードで連続的に動作させることができます。プロジェクタにフィルターカバーが取り付けられている場合、高地対応モードがオンに設定されていることを確認してください。

オーディオ設定

- ミュート：ミュート機能を設定します。
- オーディオ音量：オーディオ音量レベルを調節します。
- 電源オン / オフ音：電源オン / オフ音を設定します。

ランプ設定

- ランプ モード：Eco/ ダイナミック エコ モードを使用すると、システムノイズと消費電力が低減します。Eco/ ダイナミック エコ モードを選択すると、光出力が低減され、その結果投射画像が暗くなり、保護されるプロジェクタの動作時間が延びます。
- タイマーのリセット：0 時間にライト時間をリセットします。
- ランプ時間（低）：ランプの経過時間を時間単位で表示します。

セキュリティ設定

- パスワードの変更：新しいパスワードに変更する前に、新しいパスワードまたは現在のパスワードを入力するよう要求されます。
- セキュリティ設定の変更：パスワードを入力した後、パスワード保護を有効化または無効化することができます。

ボーレート

適切な RS-232 ケーブルでプロジェクタをコンピュータに接続し、プロジェクタのファーム ウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピュータと同じ値に設定してください。この機能は専門技術者用に設けられています。

テストパターン

オンを選択するとこの機能が有効になり、プロジェクタにグリッド テストパターンが表示されます。これはイメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。

クローズドキャプション

- クローズドキャプション有効：選択した入力信号がクローズドキャプションを送信する場合は、オンを選択して機能を有効にします。
- キャプション バージョン：お好みのクローズドキャプション モードを選択してください。キャプションを表示するには、CC1、CC2、CC3、CC4 を選択します（CC1 はお住まいの地域の一次言語でキャプションを表示します）。

スタンバイ設定

- モニタ出力スタンバイ:「オン」を選択すると機能が有効になります。スタンバイモードに入っている場合 PC とモニタ出力ジャックが適切にデバイスに接続されていれば、プロジェクターは VGA 信号を出力できます。
- オーディオ パス スルー:スタンバイモードに入っているとき対応するジャックが適切にデバイスに接続されているとき、プロジェクタはサウンドを再生することができます。

設定にリセット

すべての設定を工場出荷時の値に戻します。

☞ ***注意***

- ***次の設定がリセットされます: ユーザー設定 1、ユーザー設定 2、プロジェクタの投写位置、高地対応モード、セキュリティ設定およびボーレート。***

情報

ネイティブ解像度

プロジェクタのネイティブ解像度を表示します。

現在のシステム状態

- ソース:現在の信号ソースを表示します。
- カラー モード:**ピクチャ**メニューで選択したモードを表示します。
- 解像度:入力信号のネイティブ解像度を表示します。
- ランプ モード:現在のランプモードを表示します。
- 3D 形式:現在の 3D モードを表示します。
- カラー システム:入力システムを RGB または YUV から表示します。
- ランプ時間(低):ランプが使用された時間を表示します。
- ファーム ウェア バージョン:ファーム ウェア バージョンを表示します。

メンテナンス

プロジェクタには適切なメンテナンスが必要です。ほこり、汚れ、または斑点が画面に投影され、画質が低下するため、レンズをきれいに保つ必要があります。他の部品を交換する必要がある場合は、販売店または資格のあるサービス担当者に連絡してください。プロジェクタの一部を掃除するときは、必ずプロジェクタの電源を切り、最初にプロジェクタの電源コードを抜いてください。

⚠ ***警告***

- ***プロジェクタのカバーを絶対に開けないでください。プロジェクタ内部の危険な電圧が重大な傷害を引き起こす可能性があります。本製品を自分自身で修理しようとしないでください。すべての点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。***

レンズの洗浄

レンズクリーニングペーパーを使って、レンズを軽く拭きます。手でレンズに触れないでください。

プロジェクタ ハウジングの掃除

柔らかい布で軽く拭いてください。汚れが簡単に取り除かれない場合は、柔らかい布を水で湿らせた状態で、または水と中性洗剤を使用し、柔らかい乾いた布で拭いて乾かしてください。

☞ ***注意***

- ***メンテナンス作業を開始する前に、プロジェクタの電源を切り、AC 電源コードをコンセントから抜いてください。***
- ***掃除の前にレンズが冷たいことを確認してください。***
- ***上記以外の洗剤や化学薬品は使用しないでください。ベンジンやシンナーは使用しないでください。***
- ***化学スプレーを使用しないでください。***
- ***柔らかい布やレンズペーパーを使用してください。***

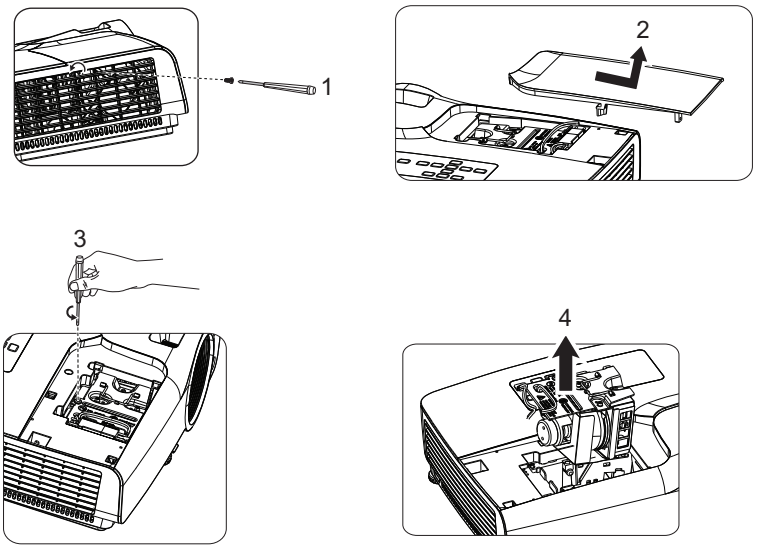
ランプの交換

プロジェクタが長時間動作させると、プロジェクタランプの輝度は徐々に低下し、ランプはより破損しやすくなります。警告メッセージが表示されたら、ランプを交換することをお勧めします。ランプを自分自身で交換しないでください。交換する場合、認定のサービス部門要員にご連絡ください。

☞ ***注意***

- ***プロジェクタの電源を切った直後はランプが非常に高温です。ランプに触れると、指が火傷を負う可能性があります。ランプを交換するときは、少なくとも 45 分間ランプが冷えるのを待機してください。***
- ***どんなときでも、ランプガラスに触れないでください。ランプガラスに触れるなど、不適切な取り扱いのためにランプが爆発することがあります。***
- ***ランプの寿命は、ランプごとに、また、使用環境によって異なる場合があります。それぞれのランプに同じ寿命を保証することはできません。ランプの中には、他の同様のランプよりも短時間で故障したり、寿命が終了したりするものがあります。***
- ***ランプは、その寿命が終わりに近づくにつれて、数時間の使用の結果として、振動、衝撃または劣化の結果として爆発する可能性があります。爆発の危険性は、プロジェクタとランプが使用されている環境や条件によって異なります。***
- ***ランプを固定または取り外すときは、保護手袋と保護眼鏡を着用してください。***
- ***オンオフサイクルが速くなると、ランプが損傷し、ランプの寿命が短くなります。電源を入れた後、プロジェクタの電源を切るには、少なくとも 5 分間待機してください。***
- ***ランプを紙、布、または他の可燃物の近くで操作したり、そのような物で覆ったりしないでください。***
- ***シンナーなどの可燃性物質を含む雰囲気中でランプを操作しないでください。***
- ***酸素雰囲気（空気中）でランプを操作するときは、エリアまたは部屋を徹底的に換気してください。オゾンを吸入すると、頭痛、吐き気、めまい、その他の症状を引き起こす可能性があります。***
- ***無機水銀がランプに含まれています。ランプが破裂すると、ランプ内部の水銀が露出します。水銀煙の吸入を避けるために、ランプが作動しているときにはすぐにこの領域を離れ、少なくとも 30 分間換気してください。そうしないと、ユーザーの健康に有害な可能性があります。***

1. プロジェクタの電源を切ります。
2. プロジェクタを天井取り付けに設置する場合は、取り外します
3. 電源コードを取り外します。
4. ドライバを使用してカバーからネジを外します。(図 #1)
   カバーを押し上げて取り外します。(図 #2)
5. ランプモジュールからネジを外します。(図 #3)
   ハンドルを持ち上げ、モジュールを持ち上げます。(図 #4)



6. 新しいランプモジュールをプロジェクタに挿入し、ネジを締めます。
7. ランプカバーを取り付け、ネジを締めます。
8. プロジェクタの電源を入れます。ウォームアップ後にランプが点灯しない場合は、ランプを再取り付けしてみてください。
9. ランプ時間をリセットします。「**設定 2 > ランプ設定 > ランプタイマーのリセット**」メニューを参照してください。

☞ ***注意***

- ***使用済みのランプは、現地の規則に従って廃棄してください。***
- ***ネジが正しく締まっていることを確認してください。十分に締め付けられていないネジは、怪我または事故の原因となります。***
- ***ランプはガラス製ですので、落としたり、ガラスを傷つけたりしないでください。***
- ***古いランプを再使用しないでください。これにより、ランプが爆発する可能性があります。***
- ***ランプを交換する前に、必ずプロジェクタの電源を切り、AC 電源コードを抜いてください。***
- ***ランプカバーを取り外した状態で、プロジェクタを使用しないでください。***

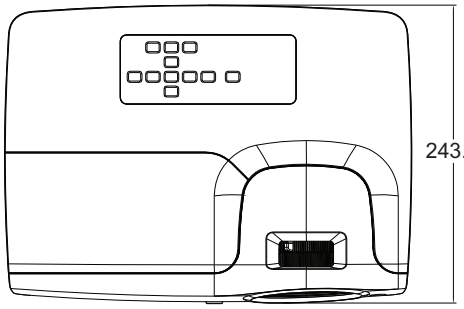
仕様

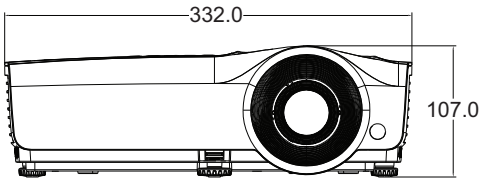
モデル名		DS262	DX263	DW275	DH268	DX281-ST	DW284-ST
ディスプレイデバイス		0.55 インチ DLP チップ		0.65 インチ DLP チップ		0.55 インチ DLP チップ	0.65 インチ DLP チップ
解像度		XGA (1024x768)	XGA (1024x768)	WXGA (1280x800)	1080P (1920x1080)	XGA (1024x768)	WXGA (1280x800)
レンズ	F 番号	F 2.46-2.66				F 2.7	
	ズーム	1.2x					
	フォーカス	f=21.8-25.6			f=19.0-22.65	f=7.2	
入力端子	HDMI	x2					
	D-Sub 15 ピン	x2					
	S ビデオ	x1					
	ビデオ	x1					
	オーディオ（PC オーディオジャック）	x1					
出力端末	D-Sub 15 ピン	x1					
	オーディオ（PC オーディオジャック）	x1					
コントロール端子	USB (mini- B)	x1					
	RS-232	x1					
スピーカー		2Wx1					
投射ランプ		203W					
環境条件		操作： 温度 :0°C ～ 40°C 湿度 :10%-90%（結露しないこと） 保管 : 温度 :-20°C ～ 60°C 湿度 :10%-90%（結露しないこと）					
電源装置		AC 120-240 V、50 - 60 Hz、2.60 A					
消費電力		240 W'（ノーマルモード時）					
外形寸法		332 mm（幅）x 243 mm（奥行）x 107 mm（高さ）				332 mm（幅）x 243.6 mm（奥行）x 107 mm（高さ）	
重量		2.6 kg（5.7 ポンド）					
注意 : 設計および仕様は予告なしに変更する場合があります。							

外形寸法

DS262/DX263/DW275/DH268

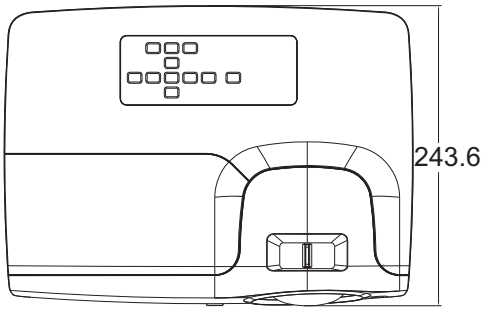
332 mm（幅）x 243 mm（奥行）x 107 mm（高さ）

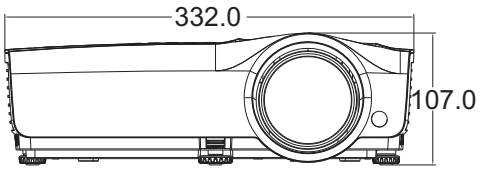




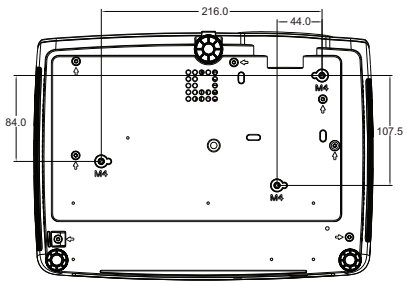
DX281-ST/DW284ST

332 mm（幅）x 243.6 mm（奥行）x 107 mm（高さ）





天井取付



天井取付ねじ：
M4 x 8（最大 L = 8mm）

単位 : mm

付録

LED インジケータメッセージ

ライト			状態と説明
電源	**温度**	**ランプ**	
システムメッセージ			
オレンジ	オフ	オフ	スタンバイ モード
緑 点滅	オフ	オフ	電源を入れる
緑	オフ	オフ	ノーマル操作
オレンジで 点滅	オフ	オフ	ノーマル電源ダウン冷却
赤く点滅	赤く点滅	赤く点滅	ダウンロード
緑	オフ	赤	CW 起動失敗
バーンインメッセージ			
緑	オフ	オフ	バーンインオン
緑	緑	緑	バーンインオフ
ランプのエラーメッセージ			
オフ	オフ	赤	ノーマル操作中にランプ 1 エラー
オフ	オフ	オレンジで 点滅	ランプが点灯しません
温度のエラーメッセージ			
赤	赤	オフ	ファン 1 エラー（実際のファン速度が希望の速度から外れています）
赤	オレンジで 点滅	オフ	ファン 2 エラー（実際のファン速度が希望の速度から外れています）
緑	赤	オフ	温度 1 エラー（制限温度を超えています）
緑	赤く点滅	オフ	温度センサー 1 オープンエラー
緑	緑	オフ	温度センサー 1 ショートエラー
緑で点滅	緑で点滅	オフ	温度 IC #1 I2C 接続エラー

互換モード

1. VGA アナログ

サポートされる PC 入力のタイミング

解像度	タイミング	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	3D フィールドシーケンシャル	3D 上下	3D サイドバイサイド
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175	◎	◎	◎
	VGA_72	72.809	37.861	31.500			
	VGA_75	75	37.5	31.500			
	VGA_85	85.008	43.269	36.000			
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000	◎	◎	◎
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000			
	SVGA_75	75	46.875	49.500			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250			
	SVGA_120（ブランキング減少）	119.854	77.425	83.000	◎		
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000	◎	◎	◎
	XGA_70	70.069	56.476	75.000			
	XGA_75	75.029	60.023	78.750			
	XGA_85	84.997	68.667	94.500			
	XGA_120（ブランキング減少）	119.989	97.551	115.5	◎		
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.250	◎	◎	◎
	1280 x 720_120	120	90.000	148.500	◎		
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5	◎	◎	◎
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.500	◎	◎	◎
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500			
	WXGA_85	84.88	71.554	122.500			
	WXGA_120（ブランキング減少）	119.909	101.563	146.25	◎		
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108.000		◎	◎
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000			
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500			
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108.000		◎	◎
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.5		◎	◎
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500		◎	◎
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750		◎	◎
1600 x 1200	UXGA	60	75	162.000		◎	◎
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.29	146.25		◎	◎
640 x 480 @67Hz	MAC13	66.667	35	30.240			
832 x 624 @75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280			
1024 x 768 @75Hz	MAC19	75.02	60.241	80.000			
1152 x 870 @75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.000			

- EDID ファイルおよび VGA グラフィックカードの制限により、上記に記されたタイミングに対応していない場合もあります。タイミングによっては選択できない場合もあります。

コンポーネント対 YPbPr 入力でサポートされるタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	3D フィールドシーケンシャル
480i	720 x 480	15.73	59.94	13.5	◎
480p	720 x 480	31.47	59.94	27	◎
576i	720 x 576	15.63	50	13.5	
576p	720 x 576	31.25	50	27	
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25	
720/60p	1280 x 720	45.00	60	74.25	◎
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25	
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25	
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25	
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25	
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25	
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5	
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5	

2. HDMI デジタル

サポートされる PC 入力のタイミング

解像度	タイミング	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	3D フィールドシーケンシャル	3D 上下	3D サイドバイサイド
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175	◎	◎	◎
	VGA_72	72.809	37.861	31.500			
	VGA_75	75	37.5	31.500			
	VGA_85	85.008	43.269	36.000			
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000	◎	◎	◎
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000			
	SVGA_75	75	46.875	49.500			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250			
	SVGA_120（ブランキング減少）	119.854	77.425	83.000	◎		
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000	◎	◎	◎
	XGA_70	70.069	56.476	75.000			
	XGA_75	75.029	60.023	78.750			
	XGA_85	84.997	68.667	94.500			
	XGA_120（ブランキング減少）	119.989	97.551	115.5	◎		
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.250	◎	◎	◎
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5	◎	◎	◎
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.500	◎	◎	◎
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500			
	WXGA_85	84.88	71.554	122.500			
	WXGA_120（ブランキング減少）	119.909	101.563	146.25	◎		
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108.000		◎	◎
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000			
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500			
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108.000		◎	◎
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.5		◎	◎
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500		◎	◎
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750		◎	◎
1600 x 1200	UXGA	60	75	162.000		◎	◎
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.29	146.25		◎	◎
640 x 480 @67Hz	MAC13	66.667	35	30.240			

832 x 624 @75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280			
1024 x 768 @75Hz	MAC19	75.02	60.241	80.000			
1152 x 870 @75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.000			
1920 x 1080	1920 x 1080_60	67.5	60	148.5		◎	◎
1920 x 1200	1920 x 1200_60（ブランキングを減少）	59.95	74.038	154.000		◎	◎

- EDID ファイルおよび VGA グラフィックカードの制限により、上記に記されたタイミングに対応していない場合もあります。タイミングによっては選択できない場合もあります。

ビデオ入力のサポートされるタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	3D フィールドシーケンシャル	3D フレームパッキング	3D 上下	3D サイドバイサイド
480i	720 (1440) x 480	15.73	59.94	27	◎			
480p	720 x 480	31.47	59.94	27	◎			
576i	720 (1440) x 576	15.63	50	27				
576p	720 x 576	31.25	50	27				
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25		◎	◎	◎
720/60p	1280 x 720	45.00	60	74.25	◎	◎	◎	◎
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25				◎
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25				◎
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25		◎	◎	◎
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25				
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25				
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5			◎	◎
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5			◎	◎

3. ビデオ /S ビデオ

ビデオ入力のサポートされるタイミング

ビデオモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	カラー副搬送波周波数 (MHz)	3D フィールドシーケンシャル
NTSC	15.73	60	3.58	◎
PAL	15.63	50	4.43	
SECAM	15.63	50	4.25 または 4.41	
PAL-M	15.73	60	3.58	
PAL-N	15.63	50	3.58	
PAL-60	15.73	60	4.43	
NTSC4.43	15.73	60	4.43	

トラブルシューティング

修理のためプロジェクタを配送する前に、以下の症状と対策を参照してください。問題が解決しない場合は、お近くの販売代理店またはサービスセンターにお問い合わせください。また、「LED インジケータメッセージ」を参照してください。

起動時の問題

ライトが点灯しない場合 :

- 電源コードがプロジェクタにしっかりと接続され、もう一方の端が電源のあるコンセントに接続されていることを確認してください。
- 電源ボタンをもう一度押します。
- 電源コードを抜き、しばらく待ってからプラグを差し込み、もう一度電源ボタンを押してください。

画像の問題

検索ソースが表示されている場合 :

- リモコンの**ソース**を押して、アクティブな入力ソースを選択します。
- 外部ソースがオンになって接続されていることを確認してください。
- コンピュータ接続の場合は、ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがオンになっていることを確認します。コンピュータのマニュアルを参照してください。

画像の焦点が合っていない場合 :

- オンスクリーンメニューを表示しながら、フォーカスリングを調整します。(画像サイズをを変更しないでください。そうであれば、フォーカスではなくズームを調整してください。)
- 投写レンズを調べて、掃除が必要かどうかを確認します。

コンピュータ接続で画像がちらつく、または不安定な場合 :

- プロジェクタかリモコンの**自動同期化**を押します。

リモコンの問題

リモコンが動作しない場合 :

- プロジェクタの前面にあるリモコン受光部を塞いでいるものがないことを確認してください。有効範囲内でリモコンを使用してください。
- リモコンをスクリーンまたはプロジェクタの前面または背面に向けます。
- リモコンをプロジェクタの反対側ではなく、正面または後方に移動します。

RS-232 プロトコル

RS-232 設定

ボーレート：	9600
パリティチェック：	なし
データビット：	8
ストップビット：	1
フロー制御：	なし

機能	タイプ	操作	ASCII	HEX
電源	書き込み	電源オン	<CR>$pow=on#<CR>	0D 24 50 4F 57 3D 4F 4E 23 0D
	書き込み	電源をオフ	<CR>$pow=off#<CR>	0D 24 50 4F 57 3D 4F 46 46 23 0D
	読み取り	電源ステータス	<CR>$pow=?#<CR>	0D 24 50 4F 57 3D 3F 23 0D
ソース選択	書き込み	コンピュータ / YPbPr	<CR>$sour=RGB#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 52 47 42 23 0D
	書き込み	コンピュータ 2/ YPbPr2	<CR>$sour=RGB2#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 52 47 42 32 23 0D
	書き込み	HDMI	<CR>$sour=hdmi#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 48 44 4D 49 23 0D
	書き込み	HDMI2	<CR>$sour=hdmi2#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 48 44 4D 49 32 23 0D
	書き込み	コンポジット	<CR>$sour=vid#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 56 49 44 23 0D
	書き込み	S ビデオ	<CR>$sour=svid#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 53 56 49 44 23 0D
	読み取り	現在のソース	<CR>$sour=?#<CR>	0D 24 53 4F 55 52 3D 3F 23 0D
オーディオ制御	書き込み	ミュートオン	<CR>$mute=on#<CR>	0D 24 4D 55 54 45 3D 4F 4E 23 0D
	書き込み	ミュートオフ	<CR>$mute=off#<CR>	0D 24 4D 55 54 45 3D 4F 46 46 23 0D
	読み取り	ミュートステータス	<CR>$mute=?#<CR>	0D 24 4D 55 54 45 3D 3E 3F 23 0D
	書き込み	音量 +	<CR>$vol=+#<CR>	0D 24 56 4F 4C 3D 2B 23 0D
	書き込み	音量 -	<CR>$vol=-#<CR>	0D 24 56 4F 4C 3D 2D 23 0D
	読み取り	音量ステータス	<CR>$vol=?#<CR>	0D 24 56 4F 4C 3D 3F 23 0D

カラー モード	書き込み	明るく	<CR>$appmod=dynamic#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 44 59 4E 41 4D 49 43 23 0D
	書き込み	プレゼンテーション	<CR>$appmod=preset#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 50 52 45 53 45 54 23 0D
	書き込み	sRGB	<CR>$appmod=srgb#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 53 52 47 42 23 0D
	書き込み	ムービー	<CR>$appmod=cine#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 43 49 4E 45 23 0D
	書き込み	標準	<CR>$appmod=std#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 53 54 44 23 0D
	書き込み	ユーザー設定 1	<CR>$appmod=user1#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 55 53 45 52 31 23 0D
	書き込み	ユーザー設定 2	<CR>$appmod=user2#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 55 53 45 52 32 23 0D
	読み取り	カラー モード	<CR>$appmod=?#<CR>	0D 24 41 50 50 4D 4F 44 3D 3F 23 0D

ピクチャ設定	書き込み	コントラスト +	<CR>$con=+#<CR>	0D 24 43 4F 4E 3D 2B 23 0D
	書き込み	コントラスト -	<CR>$con=-#<CR>	0D 24 43 4F 4E 3D 2D 23 0D
	読み取り	コントラスト値	<CR>$con=?#<CR>	0D 24 43 4F 4E 3D 3F 23 0D
	書き込み	輝度 +	<CR>$bri=+#<CR>	0D 24 42 52 49 3D 2B 23 0D
	書き込み	輝度 -	<CR>$bri=-#<CR>	0D 24 42 52 49 3D 2D 23 0D
	読み取り	輝度値	<CR>$bri=?#<CR>	0D 24 42 52 49 3D 3F 23 0D
	書き込み	色 +	<CR>$color=+#<CR>	0D 24 43 4F 4C 4F 52 3D 2B 23 0D
	書き込み	色 -	<CR>$color=-#<CR>	0D 24 43 4F 4C 4F 52 3D 2D 23 0D
	読み取り	カラー値	<CR>$color=?#<CR>	0D 24 43 4F 4C 4F 52 3D 3F 23 0D
	書き込み	シャープネス +	<CR>$sharp=+#<CR>	0D 24 53 48 41 52 50 3D 2B 23 0D
	書き込み	シャープネス -	<CR>$sharp=-#<CR>	0D 24 53 48 41 52 50 3D 2D 23 0D
	読み取り	鮮明度値	<CR>$sharp=?#<CR>	0D 24 53 48 41 52 50 3D 3F 23 0D
	書き込み	縦横比 4:3	<CR>$asp=4:3#<CR>	0D 24 41 53 50 3D 34 3A 33 23 0D
	書き込み	アスペクト比 16:9	<CR>$asp=16:9#<CR>	0D 24 41 53 50 3D 31 36 3A 39 23 0D
	書き込み	縦横比 16:10	<CR>$asp=16:4.54kg<CR>	0D 24 41 53 50 3D 31 36 3A 31 30 23 0D
	書き込み	アスペクト自動	<CR>$asp=AUTO#<CR>	0D 24 41 53 50 3D 41 55 54 4F 23 0D
	書き込み	アスペクト リアル	<CR>$asp=REAL#<CR>	0D 24 41 53 50 3D 52 45 41 4C 23 0D
	書き込み	ズーム イン	<CR>$zoomI#<CR>	0D 24 5A 4F 4F 4D 49 23 0D
	書き込み	ズーム アウト	<CR>$zoomO#<CR>	0D 24 5A 4F 4F 4D 4F 23 0D
	書き込み	自動	<CR>$auto#<CR>	0D 24 41 55 54 4F 23 0D
ボーレート	書き込み	2400	<CR>$baud=2400#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 32 34 30 30 23 0D
	書き込み	4800	<CR>$baud=4800#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 34 38 30 30 23 0D
	書き込み	9600	<CR>$baud=9600#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 39 36 30 30 23 0D
	書き込み	14400	<CR>$baud=14400#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 31 34 34 30 30 23 0D
	書き込み	19200	<CR>$baud=19200#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 31 39 32 30 30 23 0D
	書き込み	38400	<CR>$baud=38400#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 33 38 34 30 30 23 0D

	書き込み	57600	<CR>$baud=57600#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 35 37 36 30 30 23 0D
	書き込み	115200	<CR>$baud=115200#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 31 31 35 32 30 30 23 0D
	読み取り	現在のボーレート	<CR>$baud=?#<CR>	0D 24 42 41 55 44 3D 3F 23 0D
ランプ制御	読み取り	ランプ時間（低）	<CR>$ltim=?#<CR>	0D 24 4C 54 49 4D 3D 3F 23 0D
	書き込み	標準モード	<CR>$lampm=lnor#<CR>	0D 24 4C 41 4D 50 4D 3D 4C 4E 4F 52 23 0D
	書き込み	省電力モード	<CR>$lampm=eco#<CR>	0D 24 4C 41 4D 50 4D 3D 45 43 4F 23 0D
	書き込み	ダイナミックエコモード	<CR>$lampm=seco#<CR>	0D 24 4C 41 4D 50 4D 3D 73 45 43 4F 23 0D
	読み取り	ランプモードステータス	<CR>$lampm=?#<CR>	0D 24 4C 41 4D 50 4D 3D 3F 23 0D
その他	書き込み	画面オフオン	<CR>$blank=on#<CR>	0D 24 42 4C 41 4E 4B 3D 4F 4E 23 0D
	書き込み	画面オフオフ	<CR>$blank=off#<CR>	0D 24 42 4C 41 4E 4B 3D 4F 46 46 23 0D
	読み取り	画面オフステータス	<CR>$blank=?#<CR>	0D 24 42 4C 41 4E 4B 3D 3F 23 0D
	書き込み	フリーズオン	<CR>$freeze=on#<CR>	0D 24 46 52 45 45 5A 45 3D 4F 4E 23 0D
	書き込み	フリーズオフ	<CR>$freeze=off#<CR>	0D 24 46 52 45 45 5A 45 3D 4F 46 46 23 0D
	読み取り	フリーズステータス	<CR>$freeze=?#<CR>	0D 24 46 52 45 45 5A 45 3D 3F 23 0D
	書き込み	メニューオン	<CR>$menu=on#<CR>	0D 24 4D 45 4E 55 3D 4F 4E 23 0D
	書き込み	メニューオフ	<CR>$menu=off#<CR>	0D 24 4D 45 4E 55 3D 4F 46 46 23 0D
	書き込み	上	<CR>$up#<CR>	0D 24 55 50 23 0D
	書き込み	下	<CR>$down#<CR>	0D 24 44 4F 57 4E 23 0D
	書き込み	右	<CR>$right#<CR>	0D 24 4C 45 46 54 23 0D
	書き込み	左	<CR>$left#<CR>	0D 24 52 49 47 48 54 23 0D
	書き込み	エンター	<CR>$enter#<CR>	0D 24 45 4E 54 45 52 23 0D